

発行 長野県中野市議会 編集 中野市議会だより編集委員会

●ホームページ <http://www.city.nakano.nagano.jp/> ●Eメール gikai@city.nakano.nagano.jp

謹賀新年 巳年



奈良家の土人形「巳乗升」

●市政一般質問

32件

その他 1件

可決

決議 1件

可決

意見書案 3件

可決

人事案 2件

選挙

事件案 2件

選任

事件案 7件

可決

事件案 7件

可決

予算案 1件

承認

規則案 1件

可決

規則案 1件

継続審査

条例案 1件

修正可決

条例案 6件

可決

●議案件数及び議決内容

会期 15日間

閉会 12月18日

開会 12月4日

12月定例会

新年のごあいさつ

議長 竹内 卯太郎



新年明けましておめでとうございます。

市民の皆様には、輝かしい新春を健やかにお迎えのことと心からお慶び申し上げますとともに、日頃より、市政発展のために多大なるご理解とご協力を賜り、心からお礼申し上げます。

昨年5月に議長の大任に就任して以来、市政の発展と円滑なる議会運営に努めて参りましたが、今後とも中野市の更なる発展のため、引き続き努力して参る所存でございます。

さて、昨年を振り返りますと、世界経済の減速

などを背景として、国内企業の業績は改善せず、雇用情勢も依然として厳しさが続くなど国内経済は低迷し、本市においても、地域経済の回復が未だ実感できない一年であったように思います。

こうした中、本市においては、新たな地域リーダーとして池田市長が昨年11月に誕生しましたが、地域経済の活性化や急速に進む少子高齢化に対応した保健・福祉事業の充実、老朽化した公共施設の整備など、行政として取り組むべき課題は山積しております。

市議会としましては、市民の皆様が住み慣れた地域で安心して暮らせるまちづくりに向け、今後とも、市長との二元代表制の下、議決機関として

しっかりとした議論を重ね、市政の監視役としての責務を全うしていく所存でございます。

また、活力ある議会として市民の皆様のご期待に応えられるよう、議会改革も引き続き一歩一歩進め、市民の皆様にも市政及び議会情報を確実にお届けするとともに、皆様からのご意見も伺いながら共に考える、そうした市議会を目指して参ります。

新春に臨み、市民の皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げますとともに、本年が皆様にとりまして幸せで実り多く、大いなる飛躍の年となりますことを心よりお祈りし、新年のごあいさつといたします。



中野市の生産物販売促進 拡大について



小林 忠一

質問 中野市の主産業は農業であり、その生産物の販売は、主にJA・行政との一体化による振興方針により実施されている。農家は輸入農産物の増加・低価格志向等から売れ筋・価格の動向に一喜一憂の日々を送っている。生産者は、付加価値を付け消費拡大アピールのため、エコファーマー制度の導入・食の安全証明等有利販売に躍起になって努力している。消費者と農業者双方に動ける「売れる農業推進室」のさらなるパワーアップ、「信州中野」のブランド化、行政・JA・商工会議所間の連携強化に期待するが進捗状況は。

答弁 「信州中野」のブランド化は、販路拡大のため農業者・商工業者が連携した付加価値のある新商品開発の支援、市内新商品を一堂に集めた県内の飲食店等関係業者を対象とした商談会を開催している。また、

市内生産団体と連携し、キノコの健康食品としての機能性のほか、関東関西等への産地PRを実施している。さらに「信州中野」を広く全国にPRすることを目的に、中野市産地・観光PR研究委員会を発足し、地域のブランド化の研究をしている。また、呼称「信州中野」のシンボルマークを公募している。行政・JA・商工会議所等の連携強化は重要と考え、トップセールス、首都圏イベントに合同参加等の連携PRをしている。

市民生活の安全確保のためのインフラ整備について

質問 中央道笹子トンネル天井板落下事故に関連し、中野市の橋りょう・市道・構造物の点検状況は。

答弁 安全確保のため、随時道路パトロールを実施。

中野市長選挙の投票率について



永沢 清生

質問 投票率向上のための施策について。

答弁 衆議院議員総選挙の結果や、今後予定されている選挙の結果を総合的に分析し、より投票率が向上するような対策を講じていく。

質問 投票所への交通手段について。

として、投票所までの送迎を3回実施した。衆議院議員総選挙においても実施する。他の地区においては考えていない。

質問 投票所のバリアフリー化がされていない理由と箇所数及び今後の予定は。

答弁 投票所のバリアフリー化については、見直し後の投票所23か所中、18か所

にスロープがあり、未設置の5か所については、建物や玄関の構造上、仮設のスロープの設置が難しい。今後、検討していく。

交通マナーの徹底について

質問 緊急車両の交差点進入時における一般通行車両のマナーについて。

答弁 救急車両をはじめとする緊急自動車の通行については、人命にかかわる業務であることから、より一層ルールの徹底が求められる。中野警察署によると、

近年は、市内での緊急車両と一般車両との交通事故の発生はないとのことであるが、市では、今後も、関係機関・団体と連携してさまざまな機会をとらえ、交通ルールの遵守について、広報、啓発していく。市民の皆様も、一人ひとりが、正しいマナーの実践に心がけていただくことを願いたい。

大量発生しているカメムシの対策について

質問 発生状況について。
答弁 カメムシの市内での

発生状況については把握していない。
質問 市として考えられる駆除対策は。
答弁 農作物被害については、農業改良普及センターやJAから駆除対策等の情報が提供されるが、それ以外の被害については、個人で対応するものと考えている。

その他の質問 市長の政治姿勢について 市内の観光振興策について 農業振興について

新市長としての政治姿勢について



青木 豊一

質問 市長の公約の柱は具体性に欠け、抽象的なものが主であった。本議会あいさつで市庁舎移転問題の再検討を表明した。市長の優先課題と公約具体化は。

答弁 前市政とそれほど大きな差はないと考える。

質問 マスコミ出口調査の優先課題の見解と対応は。

答弁 医療・福祉、農業振興、財政再建等は私の公約と合致するので進めたい。
質問 憲法・地方自治法に沿った公正・公平な市民を主人公とした市政運営を。

市民生活に直結する施策の拡充・復活について

答弁 住民福祉増進、公平公正な市政運営に努める。
質問 市庁舎問題の争点を避け当選後持ち出すのはフェアでない。なぜ再検討か。
答弁 建物の中身、資金、目的を自分で判断したい。

乳幼児等医療費無料拡大は最低限中学校卒業まで拡大すべきではないか。

質問 乳幼児等医療費無料拡大は最低限中学校卒業まで拡大すべきではないか。
答弁 新年度からは無料拡

大を検討中である。
質問 環境整備、耐震補強、地域経済活性化の面から住宅リフォーム助成事業の新年度復活実施を強く求める。
答弁 住宅の安全性や火災警報器設置促進等と結び付け、再開を検討したい。

質問 厳寒のもと暖房も使えない低所得者が、厳寒で犠牲にならないよう福祉灯油等支給を図るべきである。
答弁 現在は考えていない。
質問 タクシー乗車券が過去に交付されていたが制度

改正で未交付になりバスの土日運休で困っている。こうした人の改善を図れ。
答弁 助成内容の変更等は現在考えていない。
質問 土日運休で医者等に行けない方の実態把握は。
答弁 要望は受けていない。





市長の政治姿勢について

高木尚史

質問 新市長の公約は抽象的な感じがしたが、小田切前市長との政策の違いは何か。

答弁 中野市をより暮らしやすくしていくという点で、それほど大きな違いはない。

質問 公約の具体的な考えと実現のため、どのように取り組んでいくのか。

答弁 中野市の魅力を整理し、再確認する場を設け、戦略的な交流の仕組みづくりを検討していきたい。交流する中で、中野市を魅力あるものとし、次代を担う

若い世代が誇りと生きがいを持って暮らせるまちづくりを進めていきたい。

投票結果と選挙公報について

質問 投票率の低下をどう評価するか。

答弁 残念に思うが、市民の声が市政に反映されることを感じていただけるようになれば、結果として投票率向上につながるのではないかと考えている。

質問 選挙公報が配布されなかった世帯があったが、実態の把握と対応はどうか。

答弁 把握しきれていないのが現状であり、今後、他市の配布方法を参考によりよい体制を整えていきたい。

市庁舎建設問題と市民会館建設問題について

質問 市庁舎と市民会館建設に対する前市長の提案計画に対し、基本的な考えと対応はどうか。

答弁 これまでの経過を整理し、市民の皆さんに判断材料を提示して意見を聞く場を設けたい。

質問 計画に対する市民合

意を得るために、どのように対応していくのか。

答弁 計画を策定する段階から市民の皆さんのご意見を聞き、反映させるため意見を聞く場を設け合意形成を図っていきたい。

質問 建設の最終判断はいつか。

答弁 早期に方向性を示していきたい。

来年度予算編成方針について

質問 公約実現のため、予算編成にあたり、どのように反映させていくのか。

答弁 通年予算で編成し、公約実現のために予算を必

要とするものについては、財政状況を勘案しながら当初予算に組み入りたい。

中野市債権管理条例案について

質問 その他の債権（私債権）を放棄した事案については、議会への報告義務を明記すべきではないか。

答弁 決算等の説明の際、不納欠損処分額として説明をしたいと考えている。

質問 条例施行前のその他の債権（私債権）の扱いの対応はどうか。

答弁 延滞金及び督促手数料は、過去の事案まで遡及した適用は考えていない。



新市長の市政に対する基本姿勢について

金子芳郎

質問 観光施策については。

答弁 土人形、中山晋平、高野辰之、農産物を中心に信州なかの観光協会と連携してPRに努めたい。

質問 大都市との連携策は。

答弁 本市を強く輝くまちにするため、様々な機会を捉え、豊かな観光資源や、キノコ、リンゴ、ブドウな

ど豊富で良質な農産物の情報発信を行い、信州中野を大都市にPRしたい。

質問 まちの活性化策は。

答弁 陣屋前広場公園の整備や活性化イベントを実施してきた。これからも地元商店会の皆さんのお知恵をいただきながら、中野市の資源を積極的に市外に宣伝しシティーセールスしたい。

質問 農商工連携施策は。

答弁 地元農産物と製造業者とのマッチング作業を行うことで、新たな商品開発の支援を行っている。今後、農商工連携を通じて、信州中野ブランドを広めていく。

質問 431票の僅差について。

答弁 中野市を良くしたい思いは同じであり、選挙が終わればみんな一体であると考えている。市民の皆様や議会、職員とコミュニケーション

ーションを豊かにしてみんなで一緒に元気な中野市を創っていきたい。

質問 消費税引き上げについて、市長としての考えは。

答弁 地方経済から見て、今、消費税増税には反対である。

質問 19市中、下から3番目の乳幼児等福祉医療費の

取り組みはどう進めるか。
答弁 給付範囲の拡大など

について検討したい。

質問 どの範囲まで拡大するの。詳しく説明を。

答弁 具体的には検討中。

質問 特別養護老人ホーム入所希望者の待機者対策はどう考えているか。

答弁 特別養護老人ホームの整備のみならず、介護予防のサービス充実をはじめインフォーマルサービス、介護サービスの提供に一層

努めたい。

質問 保育園整備計画での平成25年度西町保育園、平成27年度みなみ保育園は計画どおり進められるのか。

答弁 計画案どおりである。

再生可能エネルギーへの取り組みについて

質問 キノコ使用済み培地の発電所計画案があるが行

政の取組・考えについては。

答弁 県において「一村一自然エネルギープロジェクト」が始動したことから、導入できる事業の研究や、今後、国等が行う再生可能エネルギー関係の情報収集と提供を積極的に行ってきたい。

市庁舎問題について

(注)

インフォーマルサービス

介護保険制度に基づき提供される支援ではなく、家族や友人、地域住民、ボランティアなど、制度に基づかない支援。ボランティアなどによる支援はインフォーマルサービスとなる。

公共施設へのLED照明の導入について

町田 博文



質問 省エネ対策として公共施設へのLED照明の導入は積極的に検討すべき課題である。しかしながら、LED照明への切り替えは照明器具が高価なため、財政的な負担が大きい。こうした事態を打開するため、一つの手法として、民間資金を活用したリース方式がある。リース方式を活用することによって新たな予算措置をすることなく、電気料金の節減相当分でリース

料金を賄うことが可能となる。このリース方式を活用することによって一斉に導入できないか。

答弁 LED照明の導入は、環境への配慮の取り組みの一つとして有効な方法と考えている。リース対応を含め、費用対効果も踏まえて検討していく。

通学路の安全対策について

質問 緊急合同点検結果を

踏まえた安全対策の検討・実施状況はどうか。

答弁 緊急合同点検を行った16か所について、既に安全対策を実施済みが21か所、今年度中に実施予定が35か所、来年度実施予定が15か所、未定が45か所となっている。

実施済みの内容は、歩車分離式信号機への改良、横断歩道の新設・補修、植栽の剪定、路面標示、歩道の拡幅工事、転落防止柵の設置などである。今年度実施予定の内容としては、転落防止柵、ガードレール、警戒標識の設置などを予定している。来年度以降の箇所については引き続き道路管理者、中野警察署、学校関

係者と連携して進めていく。

胃がん検診に血液検査の導入を

質問 胃がん検診は、現在バリウムを飲みレントゲン撮影を行う方法で行われている。しかし、この検査法は煩わしさと苦痛を伴い、受診率は低い。胃がんの発見率もあまり高いとは言えない。この胃がん検診とは別に、ピロリ菌ABCリスク検査という血液検査がある。ピロリ菌抗体と胃の萎縮度を測るペプシノゲンを測定し、胃がん発症のリスクを明らかにするというものである。その結果をもつて、リスクのある人は専門

医の内視鏡による精密検査を行うことで、対象を絞った効率的な胃がん検診を行うことができる。またピロリ菌が発見された場合は、早期に除菌し、胃がんになる危険性を大きく低減させることができる。中野市として、胃がん検診にこの血液検査を導入できないか。

答弁 現行のままで受診率の向上に努めていく。

市長の施政方針について
骨髄バンクドナーへの支援について
福祉用具購入費の受領委任払いについて





市長の政治姿勢について

松野 繁男

質問 農業振興について市長の考え方は。また「農業は中野市の基幹産業である」との認識についてはどうか。

答弁 本市の農産物の販売促進を図るため、現在実施している都市圏の市場関係者への販売促進に加え、私の経験や人脈を生かした全国への情報発信に積極的に取り組む。また、本市では多様な農産物が生産されており、需要動向に即した鮮度・品質・安全性に優れた農産物づくりを推進する。

農業は、特に市の成長の鍵を握る重要産業の一つと認識している。

質問 中山間地の農業振興策はどうか。

答弁 傾斜地にある農地が耕作放棄地にならないよう、国の補助制度を活用し、地理的条件を生かし、地域振興に資する農産物の生産に取り組んでいく。

質問 市庁舎移転か現地改築かの考え方について。また方向性が示される時期についてはどうか。

答弁 市庁舎建設問題については、これまでの経過を整理し、私なりの考えも加えて市民に判断材料を提示して意見を聞く場を設けた。建設の最終判断については、現庁舎は老朽化も進んでおり、耐震上も課題がある」と認識しており、災害時には防災の拠点となることから早期に方向性を示したい。

各区から出されている道路改良等、要望に対する市の対応について

質問 要望に対する対応と結果について、また工事着工の際の地元との話し合いについてはどうか。

答弁 区の役員と共に現地

調査を実施するなかで、緊急性、必要性、重要性等を考慮して順次実施に努める。当該年度に実施できない事業については説明している。工事着工の際は、安全な施工を図るため、小規模工事を除き説明会を開催する。

この冬の除雪体制について

質問 除雪の基準について、また、排雪場の確保と周知についてはどうか。

答弁 除雪の基準については、積雪量がおおむね10 cm以上を基準として除雪し、通勤・通学時間帯までに、1車線以上の道路幅を確保する。排雪場は、県管理の河川敷や市所有の敷地など安全に利用できる場所を確保する。

保する。

中野市立小学校及び中学校適正規模等審議会について

質問 審議会の進捗状況はどうか。

答弁 25人の委員で構成されており、2回の会合を終えた。任期2年間で答申をいただく。教育委員会は答申を尊重し、市民に説明・意見を聞き決定していく。

**その他の質問
投票率の低下について
中高一貫教育について**



農業振興について



阿部 光則

質問 大量の輸入農産物によって、食料自給率と農産

物価格は、低迷が続けているがどう考えるか。

答弁 食料自給率については、農業の振興等の観点から重要な課題である。農産物価格は、農業が継続できる適正価格を望む。

質問 TPPについてはJ Aグループも一貫して反対

している。例外なき関税ゼロで、農業は壊滅的影響を受けると思うがどうか。

答弁 本市においては農業が基幹産業であることから、影響を非常に懸念している。

質問 農商工連携による信

州中野産農産物のブランド化をどう進めるのか。

答弁 販路拡大のため、市内農業者、商工業者が連携した付加価値のある農産加工品などの新商品開発への支援などをしていく。

投票区・投票所について

質問 有権者の中には投票所の変更に伴い、前の場所に行かれ投票を諦めた方も

あると聞く。細かな分析をし改善をすべきではないか。

答弁 これから分析を行い、改善については柔軟に対応したい。

質問 市長選挙の投票日に体育館で立ち会いをした人から、寒いが灯油代も限りがあ

足する灯油代は実費で支給していく。

質問 真冬の体育館の投票所は、無理がある。暖房が十分効く部屋への変更は。

ティの関係上、教室等の使用は困難である。他の施設への変更が可能かどうかも含め、今後検討する。

総務文教委員会報告

総務文教委員会に付託された条例案4件、予算案3件、事件案4件について12月4日及び13日に審査しました

中野市債権管理条例案で、委員から修正案が提出され、採決の結果、修正可決と決しました。他の条例案3件は、いずれも原案どおり可決しました。

予算案では、平成24年度中野市一般会計補正予算(第4号)の専決処分の報告について、12月16日投票の衆議院議員選挙事務に係る所要経費について専決

処分されたもので、原案どおり承認と決しました。また、平成24年度中野市一般会計補正予算(第5号)について、議会費で352万三千円の減額、総務費関係部分で四

千327万七千円の増額、教育費で一千466万八千円の減額で、他の予算案1件と同様にいずれも原案どおり可決されました。事件案4件については、可決と決しました。

民生環境委員会報告

民生環境委員会に付託された、条例案2件、予算案3件、事件案2件について12月13日に審査しました。

中野市保育所条例の一部を改正する条例案で、旧中野高校跡地に建設中の保育園を「中野市さくら保育園」とするもので、全会一致で

可決しました。

事業費で170万九千円の増額、衛生費では北信保健衛生施設組合分担金三千561万五千円の減額。総務費関係部分では高野辰之記念館費で

28万二千円追加。このほかの条例案1件、特別会計補正予算2件、事件案2件と同様にいずれも原案どおり可決しました。

経済建設委員会報告

経済建設委員会に付託された条例案1件、予算案4件、事件案1件について12月13日に審査しました。

中野市間山温泉公園条例の一部を改正する条例案について、早急に結論は出さずに、継続審査をしたいとの意見があり、継続審査とす

ることに決しました。

予算案では、平成24年度中野市一般会計補正予算(第5号)歳出のうち、農林水産業費では、農業施設

等災害復旧事業費で二千720万円の増額。土木費では、交通安全対策特別事業費の交通安全施設設置工事費で一千500万円の増額等であり、このほか特別会計補正予算等3件と同様にいずれも原案どおり全会一致で可決されました。事件案1件については、可決と決しました。

高速交通対策特別委員会

11月26日に高速交通対策特別委員会協議会を経済建設委員会協議会と合同で開催し、市内の北陸新幹線整備の進捗状況について現地視察を実施しました。

現地視察では、北陸新幹線の岩井消雪基地、立ヶ花地籍の新長野変電所と第4千曲川橋りょうのほか、北部地区渇水対策恒久施設の鳴沢ポンプ場（岩井）を視



察しました。北陸新幹線の最高速度は時速260kmの設計で、視察した第4千曲川橋りょう付近は最高速度での通過となる見込みです。市内での軌道関係の工事は概ね完了し、消雪基地などの付帯工事が進められています。また、本年秋ごろからは、テスト走行も実施される予定とのこと。

▶新長野変電所の視察



議会人事

11月18日執行の市議会議員補欠選挙において、小林忠一さん、原澤年秋さん、阿部光則さんが当選され、本会議において議席番号及び所属の委員会が決まりました。

●議席番号
●民生環境委員会
1番



小林 忠一

●議席番号
●経済建設委員会
2番



原澤 年秋

●議席番号
●民生環境委員会
3番



阿部 光則

また、3名の議席の指定に伴い、次のとおり議席番号が変わりました。

- 4番 清水正男
- 5番 高野良之
- 6番 松野繁男
- 7番 永沢清生
- 8番 武田俊道
- 9番 芋川吉孝
- 10番 深尾智計
- 11番 沢田一男
- 12番以降につきましては、変更はありません。

なお、欠員となっておりますが、議長に芋川吉孝議員が、副委員長に高野良之議員が就任し、北信広域連合議会議員には、松野繁男議員が、岳南広域消防組合議会議員には、永沢清生議員がそれぞれ選ばれました。



意見書

〈可決された意見書〉

（関係行政庁に提出）

安心できる介護保険制度の実現を求める意見書

介護保険の65歳以上の「第1号保険料」は、二〇二二年4月からの3年間（第5期計画期間）、全国平均で月額4千972円に、長野県内の平均では881円増の月額4千920円となり、高齢者には重い負担増となっている。利用者と家族にとっては、重い利用料負担により、必要な介護を受けることができないなど、家族の介護負担は軽減されていない。同時に行われた介護報酬改定は、ヘルパーの生活援助の時間区分が「1時間」から「45分」とされ、事業所の経営悪化、ヘルパーの収入減などの問題がある。デイサービスでは、時間区分が変更されたことで、スタッフのシフトや送迎体制にも影響が出ている。

「介護崩壊」といわれる介護現場は、人手不足による過酷な勤務環境と低賃金によって離職率は高く、「介護職場では働き続けられない」実態が続いている。介護労働者の平均賃金は21・4万円であり、全産業平均32・3万円と比較して10・9万円も低い状況にあり、安全・安心の介護の提供と介護の専門性が発揮できる介護現場にしていくためには、介護職員的大幅増員と処遇改善が必要である。

よって、中野市議会は、国に対し、安心できる介護保険制度の実現について、下記事項を強く要望するものである。

記

- 1 介護現場の実態を踏まえ、介護報酬の緊急再改定を行うこと
- 2 国庫負担を拡充し、介護保険料と利用料負担を軽減すること
- 3 生活援助の時間短縮を見直し、必要なサービスが受けられるように改善すること

4 国の責任と財政負担により、介護職員の処遇改善を進めること

国立病院と地域医療の充実を求める意見書

国立病院（国立高度専門医療研究センター8病院、国立病院機構14病院、国立ハンセン病療養所13箇所）は、国内最大の全国ネットワークを有し、がん・循環器などの高度医療や研究とともに、重症心身障害、筋ジストロフィー、結核・感染症、精神医療、災害医療、へき地医療など、民間では困難な分野を担い、地域医療においても重要な役割を果たしている。

また、東日本大震災では、全国の国立病院からDMAT（災害派遣医療チーム）や医療班など、一千500人を超える職員が被災地に派遣され、医療支援活動を行った。大規模災害時に住民の命を守るためにも、災害拠点病院等の位置付けを含め

て、全国ネットワークをもつ国立病院の機能強化が必要である。

国立病院機構東長野病院は、「救急告示医療機関」のほか「脳卒中回復期リハビリテーション機能、糖尿病専門治療、医療型障害児入所施設や通園事業等重症心身障害医療、発達障害・心身症などの一般小児医療及び小児救急連携」等の医療を担い、地域医療を支えている。

また、全国各地で公的病院の閉鎖や医師・看護師不足などが問題となっているが、いつでも・どこでも・だれでも安心して医療を受けられる体制の確立は、住民の切実な願いであり、国民の共有の財産である国立病院を、地域に根ざした病院として充実・強化することが必要である。

よって、中野市議会は、国に対し、安心して暮らせる地域医療の充実を図るため、下記事項の実現を強く要望するものである。

記

1 国立病院機構東長野病院を縮小・廃止することなく充実・強化を図ること

2 国立病院の運営費交付金を削減せず、必要な予算を確保すること

3 国立病院を総人件費削減の対象から除外し、医師・看護師はじめ必要人員を確保すること

長野県における国立病院と地域医療の充実を求める意見書

国立病院（国立高度専門医療研究センター8病院、国立病院機構14病院、国立ハンセン病療養所13箇所）は、国内最大の全国ネットワークを有し、がん・循環器などの高度医療や研究とともに、重症心身障害、筋ジストロフィー、結核・感染症、精神医療、災害医療、へき地医療など、民間では困難な分野を担い、地域医療においても重要な役割を果たしている。

また、東日本大震災では、全国の国立病院からDMAT（災害派遣医療チーム）や医療班など、一千500人を超える職員が被災地に派遣され、医療支援活動を行った。大規模災害時に住民の命を守るためにも、災害拠点病院等の位置付けを含め、全国ネットワークをもつ国立病院の機能強化が必要である。

国立病院機構東長野病院は、「救急告示医療機関」のほか「脳卒中回復期リハビリテーション機能、糖尿病専門治療、医療型障害児入所施設や通園事業等重症心身障害医療、発達障害・心身症などの一般小児医療及び小児救急連携」等の医療を担い、地域医療を支えている。

また、全国各地で公的病院の閉鎖や医師・看護師不足などが問題となっているが、いつでも・どこでも・だれでも安心して医療を受けられる体制の確立は、住民の切実な願いである。現在、都道府県医療計画

の見直しが行われており、二〇一三年度からは新たな医療計画が実施されるが、国民の共有の財産である国立病院を、医療計画にも位置付け、地域に根ざした病院として充実・強化することが必要である。

よって、中野市議会は、県に対し、安心して暮らせる地域医療の充実を図るため、下記事項の実現を強く要望するものである。

記

1 新たな医療計画に、引き続き国立病院機構東長野病院の役割・機能を位置付け、「脳卒中回復期リハビリテーション機能、糖尿病専門治療、医療型障害児入所施設や通園事業等重症心身障害医療、発達障害・心身症などの一般小児医療」等の地域医療の充実を図ること



■ 決議

北朝鮮の「人工衛星」と称したミサイル発射に抗議するとともに、国際連合安全保障理事会等は非軍事・外交手段で対応することを求める決議

北朝鮮は、12月12日、「人工衛星」と称したミサイル発射を行った。これは、アジア各国をはじめ国際社会の懸念と打ち上げ自制を求める声を無視し、「弾道ミサイル技術を使用した発射」の中止を求めた国際連合安全保障理事会決議一八七四号（二〇〇九年6月）に違反する行為で、断じて許すことはできない。北朝鮮が国際社会の世論に背き、情勢を悪化させる発射を再び強行したことに強く抗議する。

同時に、北朝鮮が国際連合安全保障理事会決議を遵守し、二〇〇二年の日朝平壤宣言、二〇〇五年の6カ国協議の共同声明に立ち返るよう強く求めるものである。

る。また、国際連合安全保障理事会をはじめ国際社会が、非軍事・外交的手段に徹しながら、この地域の緊張をこれ以上高めることのないよう努め、平和的な問題解決に向け一致した対応で北朝鮮への働き掛けを一層強めることが必要である。よって、中野市議会は、北朝鮮の「人工衛星」と称したミサイル発射に抗議するとともに、北朝鮮は国際連合安全保障理事会決議を遵守し、国際連合安全保障理事会等は非軍事・外交手段での対応を強く求めることを決議する。

第3代後期議会だより編集委員名簿

(順不同)

委員長 高野 良之
副委員長 芋川 吉孝
委員 阿部 光則
清水 正男
松野 繁男
永沢 清生
武田 俊道
町田 博文
小泉 俊一
金子 芳郎

市議会を傍聴しませんか

本会議は一般に公開され、個人でも団体でも自由に傍聴できます。

市政を知る良い機会です。みなさん議会傍聴にお出かけください。

なお、日程は議会事務局へお問い合わせいただくか、市のホームページにも日程等や市政一般質問の状況を掲載しております。

次の市議会定例会は3月です。



あとがき

新年明けましておめでとうございます。

中野市においては、市長選挙、国では衆議院の解散と何かとせわしい年末となりました。

そんな中、中野市は新市長を迎え、欠員となっていた3人の議員を加えて、新たな体制で12月市議会定例会が開かれました。

池田新市長には、厳しい社会情勢ではありますが、今後の中野市発展のために豊かな経験を生かし、リーダーシップを発揮されることを期待するところで。

一方、衆議院議員総選挙においては、政権交代という結果になり、日本が今後、どのように変わるか注視していかなければなりません。

近隣諸国を見ると、韓国では次期大統領が決まり、北朝鮮は人工衛星と称したミサイルを打ち上げ、また中国は尖閣諸島への領海侵犯と、日本は内外ともに不安材料がいっぱいです。

こんな中、冷静になり自分たちの生活と安心・安全な社会を確保するために努力しなければならぬと思います。